

「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会～

構成メンバー(210者)R6.1未現在

〈1. 企業会員 136者〉

〈2. 教育機関会員 1者〉

〈3. 市町村等会員 62者〉

市町村及び衛生組合などの一部事務組合

〈4. 消費者・業界団体会員 11者〉

一般社団法人埼玉県環境産業振興協会等

〈埼玉県〉

環境科学国際センター 産業技術総合センター 産業廃棄物指導課 資源循環推進課(事務局)



発表者: 県資源循環推進課

<1>



検討部会における背景・課題等について

1 背景

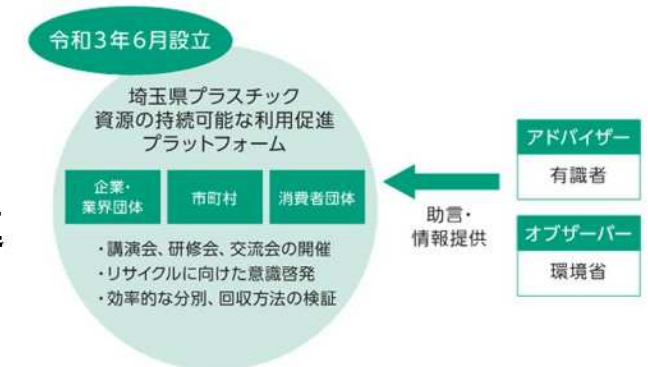
- ・プラスチックを取り巻く国内外の状況(海洋プラスチック問題、気候変動問題等)
- ・プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック資源循環法)の成立
(令和3年6月公布、令和4年4月施行)

2 目的

- ・プラスチック廃棄物の排出抑制とプラスチック資源の循環利用の促進

3 取組概要

- ・先進的な取組事例の共有
- ・会員同士のマッチング支援
- ・その他プラスチック廃棄物の排出抑制及びプラスチック資源の循環利用のために必要な事業 など



プラットフォームイメージ



プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会

<2>



検討部会で検討した事業・取組等について

〈会員の連携による取組事例〉

「サーキュラーファッションショー」(県庁オープンデー実施)



1. 目的

県民の身近な衣服に着目し、「サーキュラーファッション」による「ショー」を実施することにより、リユースしたり、リメイクして長く着るなど、県民のCEへの関心をさらに高め、具体的な行動を実践するきっかけとしてもらうもの

2. 概要

- ・ショーの企画や演出を会員と連携し検討
- ・ショーでは、埼玉県応援団の松井咲子さん、ユージさん、聖学院大学の学生が、古着やテントの生地などをリメイクしたファッションのほか、使用済みの洗剤容器をアップサイクルしたアクセサリーを身に着けたモデルとして参加
- ・ショーでは牛乳パックや、不要となった作業着から作られたワードローブを使用



アクセサリー



ワードローブ

3. 参加企業

大日本印刷株式会社、聖学院大学サステナビリティ推進センター、森乳業株式会社、丸紅株式会社、株式会社ISILK、株式会社STORY&Co.、ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社



プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会

<3>



本分野における今後の展開について

- 会員の先進的な取組等を情報共有
- 会員同士の交流の機会の提供や、連携した取組を支援 等

Confidential

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム 第9回シンポジウム

埼玉県様との取組みについて

DNP

未来のあたりまえをつくる。

2024年2月8日

大日本印刷株式会社
情報イノベーション事業部
ソーシャルビジネスセンター
ソーシャルビジネス本部
環境ビジネス推進部

©2024 Dai Nippon Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

西村 知子 (にしむら ともこ)

大日本印刷株式会社

情報イノベーション事業部 ソーシャルビジネスセンター ソーシャルビジネス本部

環境ビジネス推進部 部長



大日本印刷にて営業職としてメーカーを中心に販売促進やマーケティングソリューションの販売に従事。2019年より情報イノベーション事業部における環境ビジネス構想に携わり、2023年より現職。環境とビジネスの好循環を目指して、企業や自治体と連携したサーキュラーエコノミーの取組みを推進している。

環境経営士

IRCA 環境マネジメントシステム 准審査員

消費生活アドバイザー

1. はじめに・・・DNPについて
2. 埼玉県様との取組みについて
3. 企業の皆さまの課題感について
4. まとめ

はじめに・・・DNPについて

企業理念・・・「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する」 ブランドステートメント・・・「未来のあたりまえをつくる。」



DNPがめざす「より良い未来」



1972年から・・・

DNPグループ環境ビジョン2050（2020年策定）

「脱炭素社会」 気候変動の適応と緩和

- 自社拠点での事業活動に伴うGHG*排出量実質ゼロを目指します。
- 製品・サービスを通じて脱炭素社会の構築に貢献していきます。
*GHG=温室効果ガス

「循環型社会」 資源の効率的利用

- バリューチェーン全体で資源を効率的に利用し循環させることで、最大限の価値を提供します。

「自然共生社会」 生物多様性の保全

- バリューチェーン全体での生物多様性への影響の最小化と、地域生態系との調和を目指します。

対応するSDGs



あなたとつくりたい、
未来がある。

未来のあたりまえ
環境意識

私たちは、DNPグループ全体のGHG*を削減し、
気候変動に、温室効果ガス、気候変動による影響の軽減に力付け、
パートナーと協力してより持続可能な社会を目指します。

資源への配慮と適正な資源の利用を推進し、
みんなの暮らしと環境を良く、多様な価値を生み出します。
一つひとつの事業に、環境意識を高め、
世界の未来をより良く保ちたいと考えています。

より、ともに目指しましょう。

環境意識を高めよう、
DNP

大日本印刷株式会社

「P&I」(印刷と情報)の強みを活かして事業領域を拡げ、
環境やエネルギー、ライフサイエンスなどの事業にも注力しています。

出版関連事業



情報イノベーション事業
マーケティング関連



情報イノベーション事業
BPO(Business Process Outsourcing)



情報イノベーション事業
情報セキュリティ関連



イメージング
コミュニケーション事業



包装関連事業



生活空間関連事業



産業用高機能材関連事業



ディスプレイ関連製品事業



電子デバイス事業



ライフサイエンス関連事業



飲料事業



DNPは、多くのプラスチックを使ってモノづくりをしているからこそ、プラスチックに関わる環境課題に真摯に向き合い、解決に向けた取り組みを推進したいと考えています。

世界トップシェアの製品・サービス



リチウムイオン電池用
バッテリーパウチ



有機ELディスプレイ
製造用メタルマスク



ディスプレイ用
光学フィルム



写真プリント用
昇華型熱転写記録材

国内トップシェアの製品・サービス



ICカード



PETボトル用無菌充填システム



建築材(床材)

01

環境に配慮したモノづくり

これまで培ったモノづくりの知見を最大限に活用し、環境に配慮した販促物・資材をご提案いたします。

- 環境配慮製品・サービス開発指針
- 素材の工夫
- 加工の工夫
- 設計の工夫による梱包資材の削減
- デジタル技術の活用

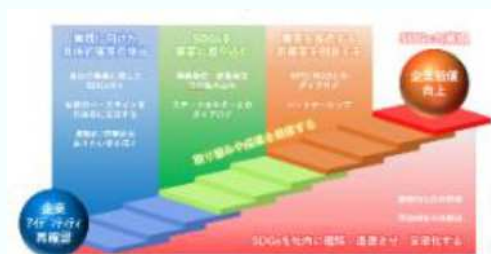


02

環境に配慮したアクション浸透・コミュニケーション

クリエイティブのカ×行動変容を促すコミュニケーション構築の知見で、届けたい相手に向けた効果的な情報発信を支援します。

- 投資家への情報発信
- 未来のファンづくり（出前授業）
- 浸透度の見える化
- メッセージを伝える「場」づくり



03

資源循環スキーム構築・運用

ステークホルダーをつなぎ、円滑に計画を進めるスキームの提供。これまで培った工程管理の知見を強みに資源循環に取り組みます。

- プラ新法をふまえた取組み
- マテリアルリサイクルの取組み
- アウトプットを魅力的に
- リサイクルの見える化
- 自治体との連携



みえる、つながる、行動が変わる

DNPのサステナビリティ・トランスフォーメーション



私たちがご提供するサステナブルな取組み方針



埼玉県様との取組みについて

① 埼玉県×DNP 連携のきっかけ・・・プラットフォーム参画

DNP

DNPでは「埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム」の発足時より参画。埼玉県、プラットフォーム参画事業者の皆さまと連携し、取組みを推進しています。



② 当社主催セミナーへの埼玉県様のご登壇

Confidential

DNP

民間企業を中心に、200名前後の方に聴講いただき、高い満足度を示していただきました。

■ 2022年4月

P&Iセミナー
第2回 環境セミナー
循環型社会の実現に向けて
～資源循環の取組み～

開催日 2022年4月26日(火)

開催場所 オンラインセミナー

開催時間 14:00～15:30



プラスチック資源循環

<埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム>の取組み

講師:埼玉県 環境部 資源循環推進課 課長 尾崎 範子様

▼埼玉県 ホームページにも掲載いただきました。

その他の情報発信

大日本印刷株式会社主催環境セミナー（令和4年4月26日（火曜日）オンライン開催）

令和4年4月26日（火曜日）開催の大日本印刷株式会社主催環境セミナー（大日本印刷ホームページ）にて、オンラインセミナーの開催と今後の取組を発表しました。

- 埼玉県環境部資源循環推進課発表資料「プラスチック資源循環～埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォームの取組」(PDF:1.88KB)

「埼玉県ホームページ」
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0507/saitama-plasticsplatform.html>

■ 2023年4月



2023年4月10日(月) 15:00-16:30

オンライン（ZOOM・YouTubeライブ）で参加いただけます

Session
①

環境をめぐる動向について&DNP支援体制ご紹介

大日本印刷株式会社 情報イノベーション事業部 ソーシャルビジネスセンター
ソーシャルビジネス本部 環境ビジネス推進部本部 部長 西村 知子

Session
②

「プラスチック資源循環の見える化」実証実験 結果報告

埼玉県 環境部 資源循環推進課 ご担当者（確定次第ホームページに掲載いたします）
環境カウンセラー/環境経営士 関根 久仁子様（カムフル株式会社 代表）
大日本印刷株式会社 環境ビジネス推進部 環境ビジネス推進グループ尾野 友邦

③ 「プラスチック資源循環の見える化」 実証実験



DNPを含むプラットフォーム参画企業7社がワーキンググループをつくり、埼玉県を実践の場として、プラスチック資源循環の新たな取組みにチャレンジしました。

■ 2022年11月4日に埼玉県とDNPで、プラ資源循環の新しい取組みを同時リリース

2022年11月4日
大日本印刷、埼玉県、企業6社が官民連携で「プラスチック資源循環の見える化」の実証実験を実施

使用済みのプラスチックの古物回収から再資源化まで、各工程のCO2排出量を把握し、リサイクル製品の環境負荷を生活者に伝える。

ニュースリリース | 製品・サービス | マーケティング・セールス | サービス・サポート

大日本印刷は、株式会社(株)山崎、株式会社(株)北野製作所、(株)川田内、(株)豊田、(株)日野製作所、(株)日野製作所と連携して、6社の製造業のプラスチックの廃棄物の回収から、資源化してリサイクルするまでのプロセス(4年間の取り組み)を継続し、効果的に実行する取り組みを2022年11月4日、実施します。

ドメイン・ドメインシステムを利用して、事業が環境・ローカル・CO2排出量の管理を管理し、生活者に分かりやすく発信することで、リサイクルによる資源の見える化が実現されています。

項目	数値
1. 回収率	99.9%
2. CO2削減率	99.9%
3. リサイクル率	99.9%
4. 資源化率	99.9%

「埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム」の実証実験～会員7者が連携して、店頭回収したプラスチックの「資源循環の見える化」を行います～

お問い合わせ | 011-261-3117 | Email: k1102.dnp@cf.dnp.com

プラスチック資源回収の見える化

回収率 99.9%
CO2削減率 99.9%

回収率 99.9%
CO2削減率 99.9%

回収率 99.9%
CO2削減率 99.9%

③ 「プラスチック資源循環の見える化」 実証実験



③ 「プラスチック資源循環の見える化」実証実験

リサイクル工程のトレーサビリティ取得&取組みの見える化と情報発信を実施

詳細ページ
ボールペン本体（成型済みプラスチック）

ロット番号：202301-EGH-0005
製造年月日：2023/01/30
重量：0 kg
再生材含有率：24.8 %

■ 一般公開情報
埼玉県東武東上線にて回収されたプラスチックを一部活用して作られています

提供履歴

プラスチック資源が新しい製品に生まれ変わりました。

プラスチック資源が生まれ変わります！

今日の活動で減ったCO2

- プラスチック資源の削減量 1,119 kg
- 削減できたCO2削減量 2,780 kg-CO₂
- 削減されたCO2削減量 1,080 kg

削減量の約3割は、CO₂削減に貢献！

削減量の約3割は、CO₂削減に貢献！

削減量の約3割は、CO₂削減に貢献！

15.25g-CO₂削減

15% OFF

25% CO₂削減

本製品はCircular Naviを採用してトレーサビリティを確保しています。

Circular Navi

アンケートにご協力をお願いします。

アンケートに答える



④ 埼玉県民の日 サークュラーファッションショー

古着やリメイクでサーキュラーファッションショー開催！



大学や企業と連携し、リサイクル素材による衣服等着用したサーキュラーファッションショー*を開催！

特別ゲストに松井咲子さんやユージさんが登場します！

埼玉県のマスコット「コバトン」もモデルとしてランウェイ♪

ここでしか見られない、特別なファッションショーをぜひ楽しんで。

*環境に優しい素材を使用した衣服や、長く使用できるようにリユースやリペアされた衣服など

出典:埼玉県ホームページ
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0301/kenminnohi/kentyouopenday.html>

④ 埼玉県民の日 サークュラーファッションショー/コンセプト

DNP

サーキュラーエコノミーを、身近なファッションを通じて、県民の皆さまに体感していただくことをコンセプトに企画を考えました。

埼玉県様からは、身近なものをリサイクルした素材をつかって演出したい、との要望をいただき、2つの材料をご提供いただきました。

埼玉県の給食で提供されている・・・



画像出典
森乳業株式会社様ホームページ:<http://www.morimilk.co.jp/company/profile.html>

埼玉県職員の皆様が着用している・・・



④ 埼玉県民の日 サークュラーファッションショー／ワードローブを制作

DNP



④ 埼玉県民の日 サークュラーファッションショー

■ ワードローブができるまで

1)材料収集

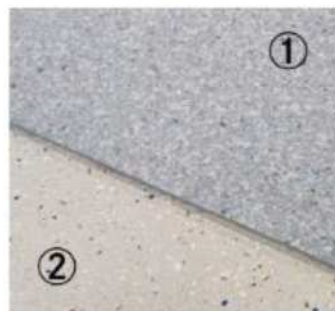
2)粉碎

3)DNP工場廃紙と混ぜ合わせ

4)ボードに成形

5)ボードをワードローブに組み立て

[作業着]



[牛乳パック]



①：作業着再生ボード
②：牛乳パック再生ボード

④ 埼玉県民の日 サーキュラーファッションショー/当日の様子



企業の皆さまの課題感

DNPにはこのようなご相談をいただきます

DNP



社内外ともに
どのように
進めればいいのか
わからない

何から
始めればいいのか
わからない

各事業者

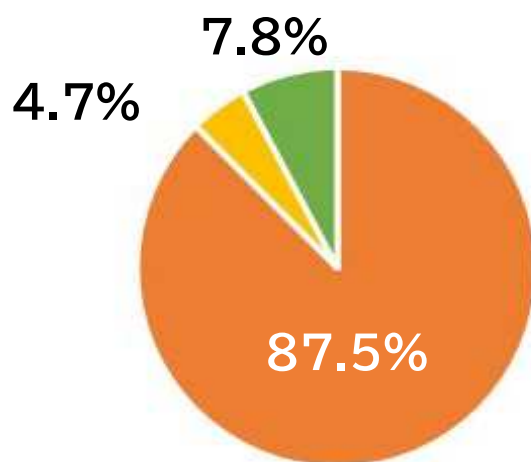


1社でできることは
限界があるのは
わかっているが、
どのように連携すれば
よいかわからない

活動しているが
細かいことばかりで
インパクトが
出せていない

■ 事前の課題感

<セミナー参加の目的>



<キーワード>

プラスチック
新法への対応

サーマル以外の
リサイクルを
すすめたい

プラスチックの
代替素材は？

自分たちが
行動をおこす
ヒントがほしい

プラリサイクルの
現在の動向は？

- 環境分野に関する動向や情報収集のため
- DNPの環境への取り組みを知るため
- モノづくりにおける環境の取り組み方に課題を持っているため

■ セミナー聴講後の感想

<セミナー申込状況>



<コメントの一例>

自治体(埼玉県)の話が聞けてよかった

行政、有識者、事業者の立場での意見が聞けた

具体的な事例がわかりやすかった

資源循環に関する消費者意識が知れて参考になった

地域と企業が一緒に取り組む必要性を感じた

今後求められる環境の動向が理解できた

プラスチックはごみではなく資源だと認識できた

自治体との連携が資源循環で有効なことが感じられた

自社は静脈企業、生活者の視点が知れて勉強になった

何か取り組める事はないか?と考えるきっかけになった

見える化、異業種連携等のキーワードが見えてきた

リサイクル材料の用途拡大に向けてのヒントがあった

SS04

彩生

再生から彩生へ。環境問題をポジティブに取り組む

2024年
1月30日(火)
14:00～15:00

大友 聡 様 (株式会社 良品計画 生活雑貨部 企画デザイン課)
尾崎 範子 様 (埼玉県 環境部 資源循環推進課)
佐藤 友宏 様 (隈研吾建築都市設計事務所)
晴山 健史 様 (株式会社 明治 グローバルカカオ事業本部 カカオマーケティング部)
村上 浩 (DNPエスピーイノベーション SPビジネス本部)
西村 知子 (情報イノベーション事業部 ソーシャルビジネスセンター ソーシャルビジネス本部 環境ビジネス推進部)

再生から彩生へ。

私たちは、環境負荷を低減するために工場端材を利用した「紙再生ボード」の開発に取り組んでいます。このボードの表面に見られる粉碎物の色やかかけらは、各企業の取組み姿勢を反映しており、鮮やかな素材「彩生材」として進化しました。

これまで共奏していただいたクライアントの皆様と、この技術を通じて得られた気づきや展望について、業界横断で60分間お話しいただくセッションを開催いたしました。

■イベントご案内URL https://www.dnp.co.jp/biz/eventseminar/event/20170009_1594.html#anchor102

■ セミナー登壇の皆さまの取組みについて



◀ 良品計画様



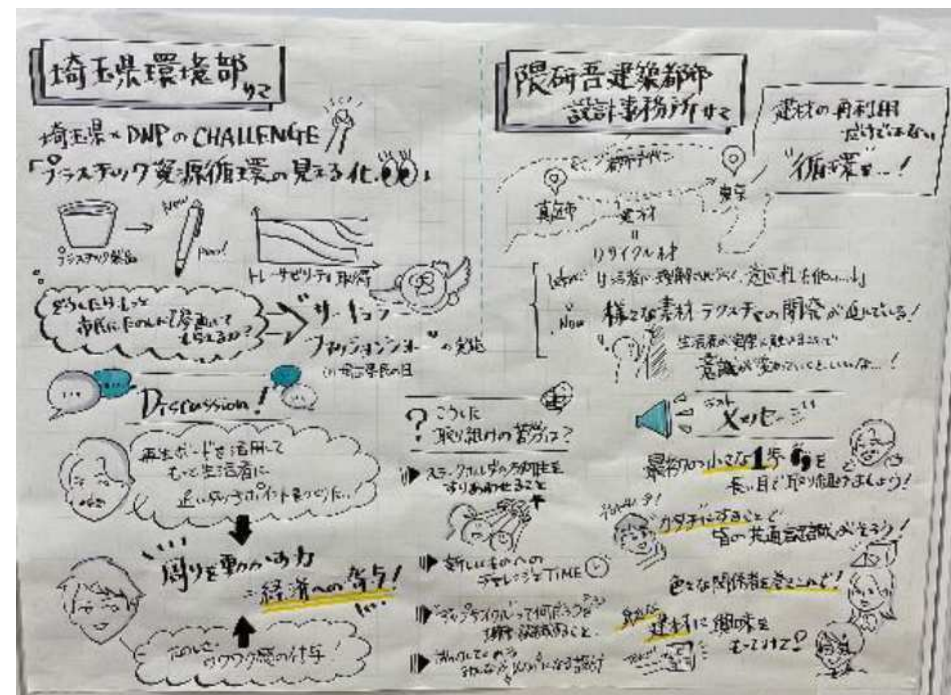
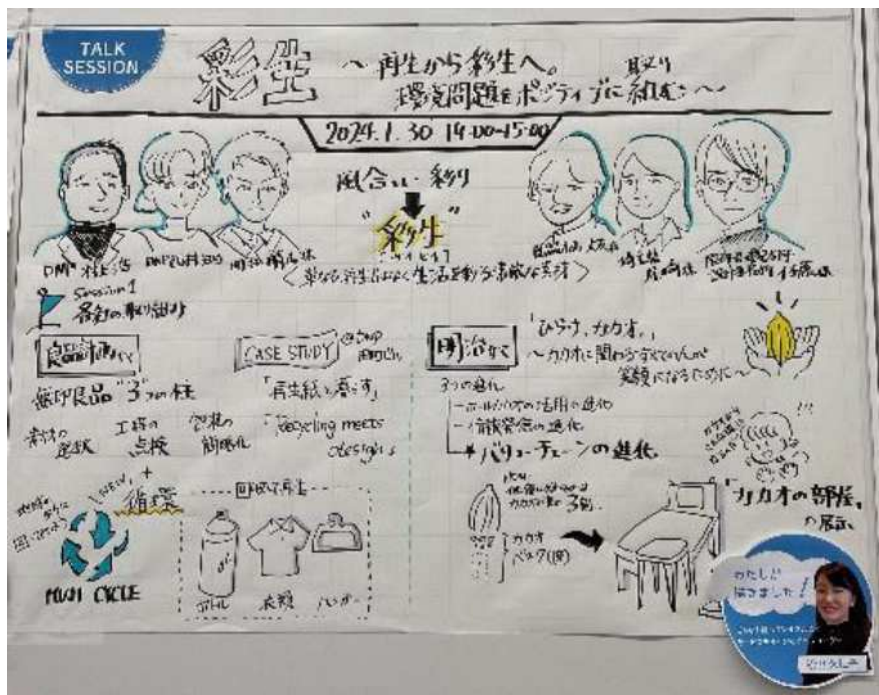
https://www.dnp.co.jp/media/detail/20169439_1563.html



▲ 明治様

https://www.dnp.co.jp/news/detail/20169552_1587.html

このセミナーは、流通・メーカー等、資源循環に興味のある企業の皆さまに聴講いただきました。これをきっかけに、さらなる協創を！という機運が高まっています。



まとめ

令和3年6月設立

埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム

企業 消費者・業界団体 市町村

- ・事業者による連携の取組支援
- ・市町村の分別収集支援
- ・消費者への意識啓発

・会費無料、随時入会可能

*個人は対象外

・令和6年1月現在会員数:210者

(企業136、消費者・業界団体11、教育機関1・地方公共団体62)

アドバイザー
有識者

オブザーバー
環境省・経産省

助言・
情報提供

未来のあたりまえをつくる。

DNP

「未来のあたりまえをつくる。」はDNP大日本印刷の登録商標です。

×

×

モデル募集中

埼玉県庁で行われるイベントで古着を使ったコーディネートでステージに立ちませんか？
若人と一緒に立てるかも？
一緒にイベントを盛り上げませんか？

日にち 11月14日(火)

場所 埼玉県庁

※開演時間は調整中で、追って連絡します
※申し込み：10月25日

モデル募集 & 古着回収宣伝



ファッションショー



**コーディネート
検討**



Instagramへの投稿



古着回収



ワークショップの開催